



# 社福だより

## 学童の新しいお友達

### 主な内容

- P1 新年度の挨拶
- P2 令和5年度事業計画
- P3 令和5年度予算
- P4 社協会費納入のお願い  
主な社会福祉活動事業
- P5 事務事業の見直しについて (前編)
- P6 新しい顔  
デイサービス利用者募集
- P7 金ケ崎町社会福祉協議会組織図
- P8 寄付の報告  
令和5年度ふれあい福祉相談日程  
令和5年度オレンジカフェ募集

新年度になり、各学童に新1年生のみなさんが入所しました。それぞれの学童で元気に活動しています。学童職員も、みなさんからパワーをもらいながら、安全に楽しく放課後の時間を過ごせるように見守っていきます。



西学童



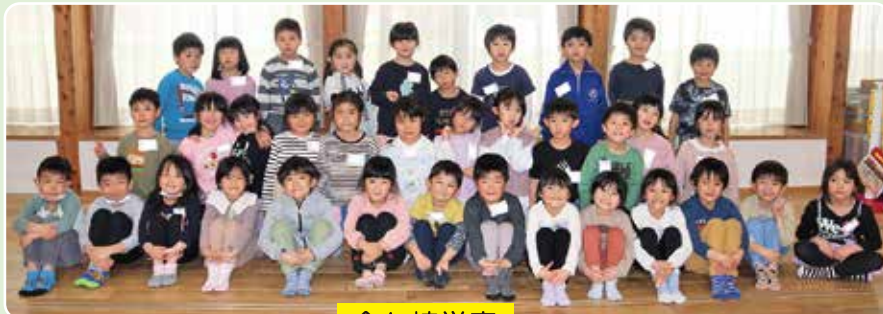
永岡学童



三ヶ尻学童



北部学童



金ケ崎学童

## 社協の事務事業の見直しについて

### 新年度の挨拶



金ケ崎町社会福祉協議会 会長 高橋 範夫

本の作者と内容は全く記憶にありませんが、ひとつだけ今も記憶に残っている一文に「変化は成長である。」という記述であります。当社協は今、正にこの変化を求められている最中にあります。コロナが収束の方向に向かっているものの、利用者の減少等経営に及ぼす影響は甚大なものがあり、加えて最近の物価高による経費の増加により、収支戻は殊更厳しい状況下にあります。私の見立てでは、残念ながら事業収支は3期連続マイナス決算となるのではないかと、早くから危機感を持ってきたところでもあります。

こうした状況から当社協は、年明け早々、全部の福祉サービスに係る事務事業を見直してきました。その後3月の第5回理事会に見直しの考え方、方向性を諮り、これが承認を頂いたところでもあります。見直しの考え方を要約しますと①事業として使命を終えたものは廃止。②事業統合。(統合しても福祉サービスの低下をまねかないもの。)③事業の実施回数を減らす。などあります。この結果、肥大化した66の福祉サービス事業のうち、半分の33の事業について改善・改革をすることとしました。勿論改善・改革案は、行政を始め、関係団体そして町民皆様のご理解を得ながら進めることとしますが、事業によっては直ちに実施できるものと、少し時間をかけて実施するものに区分し、実効性が上がるよう取り組んでいく考えであります。

「変化は成長である。」の言葉どおり、社会の変化に順応した事業に組み換え(変化)、新たな成長軌道を追求し、福祉サービスを実践してまいりたいと考えていますので、町民の皆様には何卒ご理解頂きますようお願い申し上げます。なお、詳しくは5ページをご覧ください。

# 令和5年度金ヶ崎町社会福祉協議会

## 事業計画

### 基本方針

社会福祉協議会は、多様な福祉ニーズに応えるべく各種地域福祉事業をはじめ、介護事業や障がい福祉事業など幅広く展開します。

新型コロナウイルスの感染が落ち着きを見せているため、これまで制約を受けていた事業も内容を見直しながら着実に推進します。

### 重点事業

#### 1. 地域福祉事業の推進

「ゆいっこハウス」や「青い鳥のつどい」などのほか、配食サービスや雪かきボランティア活動、買い物支援バスなどについては、コロナが落ち着いてきたことから、利用者の増加を見込んで事業を推進します。

みんなの居場所「はっぴいぶれいすかねがさき」（子ども食堂）もテイクアウト方式から通常の集まったの方式に切り替えるよう準備を進めます。

また、地域での支え合いのしくみづくりなど、新たな福祉課題に対応していくため、既存の地域福祉活動事業の見直しも合わせて進めます。



▲ はっぴいぶれいすかねがさき

#### 2. 学童保育事業の推進



子どもの数がやや減少傾向にある中で、学童保育所の利用者は増加しており、本年度も昨年度と同等の利用者数となっています。

学童保育所によっては、利用者の増加で多少保育室が窮屈な状態にありますが、それぞれの学童保育所の特徴を生かしながら、安全安心を基本に、放課後児童の健全育成に努めます。

◀ 学童保育所

#### 3. 介護事業の推進

これまでの新型コロナウイルスの感染拡大や大雪により、介護事業は全般的に業績が下がっていますが、社会福祉協議会が担っている居宅介護支援事業、訪問介護事業、通所介護事業については、サービスの向上を目指して事業の充実を図っていきます。

特に通所介護事業については、理学療法士を新たに採用し、機能訓練の充実を図りながら事業を進めます。

また、介護予防の立場から通所型サービス A 事業の利用者の拡大を図るほか、体操ショッピングバス等についても事業を継続します。



▲ 通所介護事業所 機能訓練

## 4. 障がい福祉事業の推進

職員の専任体制をとっている相談支援事業所あゆみと障がい者基幹相談支援センターは職員体制が変わりますが、引き続き相談事業の充実を図ります。

放課後等デイサービス事業については、本年度もクレヨンと第2クレヨンで業務を行います。日中一時支援事業も継続し、きめ細かい対応を図っていきます。

また、ワークステーションかねがさきについては、生活介護と就労継続支援B型事業を実施していますが、多様な作業を受注し、就労支援事業における利用者工賃の向上に努めます。



▲ ワークステーション作業

## 5. 福祉センター施設の建て替え

昭和47年建設の福祉センターは、建設から50年を超え、老朽化が進んでいますが、建設に向けた町との協議がまだ続いています。早期に方向性をまとめ、具体化できるよう努めます。

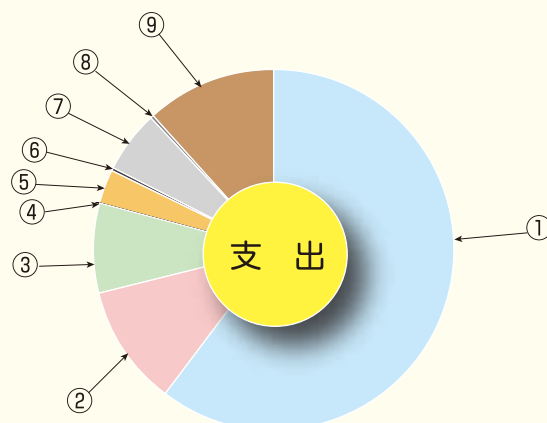
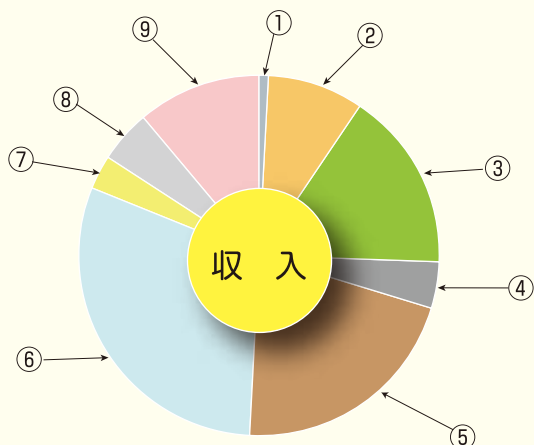


▲ 金ケ崎町福祉センター

## 令和5年度一般会計資金収支予算内訳表

収入項目	予算額 (単位：千円)	割合 (%)
①会費収入	4,370	1.0
②助成金等収入	37,001	8.7
③経常経費補助金収入	68,011	16.1
④受託金収入	16,849	4.0
⑤介護保険事業収入	89,150	21.1
⑥障害福祉サービス等事業収入	128,600	30.4
⑦就労支援事業収入	13,000	3.1
⑧積立資産取崩収入	20,000	4.7
⑨前期末支払資金残高	46,098	10.9
合計	423,079	100.0

支出項目	予算額 (単位：千円)	割合 (%)
①人件費支出	256,112	60.5
②事業費支出	45,747	10.8
③事務費支出	33,546	7.9
④貸付金支出	300	0.1
⑤就労支援事業支出	13,000	3.1
⑥助成金支出	1,110	0.3
⑦積立資産支出	23,005	5.4
⑧予備費支出	1,795	0.4
⑨当期末支払資金残高	48,464	11.5
合計	423,079	100.0





# 社会福祉協議会会費納入にご協力ください。

町民の皆さまから納入いただく会費が、事業の大きな原動力となり、令和5年度事業計画を実施するための重要財源として活用されます。地域福祉向上のため、趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますようよろしくお願いいたします。

金ヶ崎町社協の会費一般会費

- 一般会費 1世帯1,000円 (町内全世帯)  
\* 社会福祉活動推進員(自治会長)を通じて納入いただいております。
- 特別会費 2,000円 (事業所・施設・関係機関団体)
- 賛助会費 1,000円 (本会役員その他個人)

令和4年度社協会費実績

一般会費	3,897,000円
特別会費	484,000円
賛助会費	11,000円
合計	4,392,000円

～ ご協力いただきました会費を活用し 主に以下のような事業を行います～

## 主な社会福祉活動事業



オレンジカフェ



金婚を祝う会



はっぴいぶれいすかねがさき



買い物バス事業



ご近所支え合い事業



ボランティアスクール



スノーバスターズ

令和5年度の事業運営方針及び事業計画の詳細については、金ヶ崎町社会福祉協議会のホームページに掲載しております。

# 事務事業の見直しについて

## 前編

社会福祉協議会では昨年度から事業の効率化と経営の健全化を目的として、事務事業見直し検討委員会で66事業の見直しについて検討を行ってまいりましたが、令和5年度から次のように見直しを行うことになりましたので、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

### 主な事務事業の見直し一覧表（令和5年度実施前編）

事業名	見直し内容	備考
ふれあい福祉相談	毎週金曜日から毎月1回開催に変更 毎月第4金曜日開催	休日の場合第3金曜日
地域福祉懇談会	要望に基づき出向く方式に変更 (これまで町と共催)	オレンジカフェ、ゆいっこ ハウスなども活用
ハウスヘルパー	年2回から1回に見直し	
ふれあいレターサービス	基本的には廃止方向	
社会福祉大会	講演会を事例発表に変更 福祉作文朗読廃止方向	地域支え合いの仕組みづくり の事例発表など
配食サービス	使い捨て容器への変更を試行 料金の値上げ	・配達のみ (回収は行わない) 550円 → 600円
福祉有償運送 (移送サービス)	料金の値上げ(片道は半額)	町内5キロ未満 1,500円 町内5キロ以上 2,000円 町外11キロ未満 3,000円 町外11キロ以上 4,000円
訪問理美容	料金の値上げ 利用基準の見直し(添乗要件など)	1人1回 1,500円
洗濯サービス	料金の値上げ	450円 → 800円 200円 → 400円
買物支援バス	回数見直しの方向	運転手不足等
青い鳥のつどい	実施回数縮小 (4月～12月の間で開催)	1月～2月休止(冬期間)
ひとり親家庭交流事業	子ども食堂との合同開催に集約	発展的に事業解消
介護リフレッシュ交流	年2回開催から年1回開催に見直し	
金婚を祝う会	令和5年度の様子を見て 令和6年度から廃止方向	参加者減少、意識変化 令和5年度は実施
長寿100歳祝賀行事(共催)	共催事業からの離脱	
福祉作文	基本的には廃止方向 (学校との調整を経て決定)	応募点数の減少 学年の偏りなど

※後編は、次号に掲載します。

# 指定 (介護予防) 通所介護 A 型事業所

よろしく  
おねがいします  
新しい  
顔



理学療法士  
佐藤 美 桜



4月から通所介護事業所に理学療法士として配属になりました。

これまでは主に整形外科疾患や脳血管疾患の急性期・回復期のリハビリテーションに携わってきました。そこでは目標に向かって取り組む患者様の姿勢や回復能力に感銘を受け、私自身が元気をもらうことが多くありました。

今後はこれまでの経験を活かし地域のみなさまがその人らしい生活を送れるよう、歩行や移乗、入浴などの日常生活動作訓練や転倒予防のための運動など、お一人お一人にあったプログラムを考え、利用者様と共に目標に向かって取り組んでいきたいと思っております。

また、金ヶ崎町の介護福祉に貢献していけるよう努めてまいりますのでよろしくお願いいたします。

## 利用者 募集中

## デイサービス (指定通所介護事業所)



デイサービスでは、要介護状態にある高齢者のみなさんが能力に応じ自立した日常生活を送れるよう、必要な支援を行っています。ご利用者様がより快適に自立した生活を送れるよう、理学療法士が機能訓練の充実を図っています。健康チェックや入浴などの日常の支援をはじめ、季節行事やレクリエーションなども行いながら楽しい1日を過ごしていただいています。



### ◆利用時間

9時15分～16時20分  
(職員が送迎を行います)

### ◆問合せ先

TEL 41-0666  
FAX 44-6106



平日はふれ愛食堂の日替わり定食をみなさんに提供しています。栄養士自信作の定食は、味はもちろん、栄養に気を使ったバランスのよいメニューに仕上がっています。毎月季節に応じたイベント給食も提供しています。

必要に応じて、食べやすいように手を加えた介護食も提供していますので、安心して食べていただくことができます。

# 金ヶ崎町社会福祉協議会組織機構・職員配置図

令和5年5月10日現在

会長	高橋 範夫
副会長	鈴木 浩之
理事	伊藤 雅成
理事	菊地 千春
理事	佐藤 千光
理事	太田 あや
理事	久保 木 章
理事	佐々木 仁子
理事	佐藤 恭修
理事	高橋 正徳
監事	伊藤 寿正
監事	堀 正

会長 高橋 範夫  
副会長 鈴木 浩之

理事会

監事

理事兼事務局長  
高橋 修

評議員会

総務企画・地域福祉課

介護福祉課

障がい福祉課

課長 郡司 彰

課長 高橋 奈歩

課長 宮本 運山

## 【福祉センター建設推進室】

※課長兼福祉センター建設推進室長 郡司 彰  
福祉センター建設推進室員(兼) 高橋 奈歩  
福祉センター建設推進室員(兼) 佐藤 久美子  
福祉センター建設推進室員(兼) 鈴木 知里

## 【総務企画係・地域福祉係】

係長兼福祉活動専門員兼会計職員 鈴木 知里  
主任兼会計職員 小澤 明延  
社会福祉士兼生活支援コーディネーター 吉田 祐子  
事務職員 児玉 真実  
事務職員 千葉 佳子  
運転手兼用務員 釜石 又三郎  
運転手兼用務員 高橋 一男  
清掃員 阿部 稲子  
清掃員 釜石 房子

## 【学童保育係】

副主幹兼金ヶ崎学童リーダー 菅原 真澄  
金ヶ崎学童副リーダー 佐藤 文子  
金ヶ崎学童児童支援員 高橋 美枝子  
金ヶ崎学童児童支援員 及川 典子  
金ヶ崎学童児童支援員 小野 寺智子  
金ヶ崎学童児童支援員 渡邊 郁子  
金ヶ崎学童児童支援員 小野 寺利  
金ヶ崎学童児童支援補助員 山口 成実  
金ヶ崎学童児童支援補助員 千葉 裕子  
金ヶ崎学童児童支援補助員 及川 美香  
金ヶ崎学童児童支援員 菊地 徳道  
金ヶ崎学童児童支援補助員 洞口 一義  
金ヶ崎学童児童支援補助員 遠藤 きよ美  
金ヶ崎学童児童支援補助員 吉田 晴美  
金ヶ崎学童児童支援補助員 小澤 真澄  
三ヶ尻学童リーダー 菊地 桂子  
三ヶ尻学童副リーダー 今宮 妙子  
三ヶ尻学童児童支援補助員 大友 真由美  
北部学童リーダー 鈴木 里枝  
北部学童副リーダー 石川 裕美  
北部学童児童支援補助員 小澤 裕子  
北部学童児童支援補助員 有住 恵子  
北部第2学童児童支援補助員 菅原 昭子  
北部第2学童児童支援員 渡部 佳子  
西学童リーダー 松川 千鶴子  
西学童副リーダー 鈴木 直美  
西学童児童支援員 木村 圭子  
永岡学童リーダー 熊谷 るみ  
永岡学童副リーダー 佐藤 穂波  
永岡学童児童支援員 佐藤 芳子  
永岡学童児童支援補助員 巴 信子

## 【指定居宅介護支援事業所】

係長兼管理者兼主任介護支援専門員 八重 柏知史  
係長兼主任介護支援専門員 高橋 文恵

## 【指定(介護予防)訪問介護・A型事業所】

### 【指定障害福祉サービス事業所】

課長補佐兼管理者兼サービス提供責任者 三田 章代  
介護職員 山本 歌子  
介護職員兼サービス提供責任者 千葉 薫子  
介護職員 後藤 秀子  
介護職員 秋澤 千賀子  
介護職員 本宮 君枝

## 【指定(介護予防)通所介護・A型事業所】

課長兼管理者兼生活相談員 高橋 奈歩  
主任兼生活相談員兼介護職員 小澤 ひろみ  
理学療法士 佐藤 美桜  
看護師 畠山 暢子  
看護師 坂下 則子  
介護職員 小関 久美子  
介護職員 秋澤 学  
介護職員 廣野 聡  
介護職員 高橋 あやめ  
介護職員 橋山 澄子  
介護職員 千葉 千昭  
清掃員 高橋 君江

(兼)は他事業所・他部署との兼務  
※は名簿重複あり

## 【ワークステーションかねがさき】

課長補佐兼管理者兼サービス管理責任者 佐藤 久美子  
係長兼サービス管理責任者兼生活支援員 及川 裕美  
生活支援員兼栄養士兼調理員 小河 原由華

## 【就労継続支援B型事業所】

主任兼生活支援員 榊 文章  
職業指導員 八重 樫 伸  
職業指導員兼生活支援員 千葉 博  
職業指導員兼生活支援員 阿部 喜一  
職業指導員兼生活支援員 及川 和江  
事務補助兼生活支援員 安倍 百香

## 【生活介護事業】

生活支援員兼調理員 平尾 由紀子  
生活支援員 千田 瑞枝  
看護師兼生活支援員 板宮 勢智子  
看護師兼生活支援員 千葉 眞由美  
看護師 高橋 牧子  
生活支援員兼調理員 佐々木 正文

## 【放課後等デイサービス】

### 【クレヨン】

主任兼管理者兼日中一時支援管理者兼指導員  
紺野 小百合  
児童発達支援管理責任者 忍田 英美  
指導員 伊藤 美絵  
児童指導員 齊藤 治香  
児童指導員 朝倉 由美  
児童指導員 小澤 夏美  
指導員 小澤 美南子  
指導員 阿部 伸理

### 【第2クレヨン】

管理者兼日中一時支援管理者兼指導員  
高橋 ミナ子  
児童発達支援管理責任者 高橋 由香  
児童指導員 菅原 絹子  
児童指導員 坂本 有子  
指導員 小野 寺美智  
児童指導員 齋藤 いくこ  
保育士 小澤 仁美  
指導員 田口 順子  
保育士 菅野 和彦

### 【第3クレヨン】 休止

## 【相談支援事業所あゆみ】

係長兼管理者兼相談支援専門員 鈴木 清子  
あゆみ相談支援専門員(兼) 吉田 祐子

## 【障がい者基幹相談支援センター】

課長兼管理者 宮本 運山

# 寄付の報告

令和5年3月1日から4月28日までの受付分

ありがとうございます！  
ございます！



## ○福祉基金

佐藤 ナミ子 様 30,000 円

## ○物品寄付

小原 萬 様  
白菜 20 ケ (ワークステーションかねがさきへ)  
幸和産業様  
リクライニング車いす 1 台 (デイサービスへ)

## ♥はっぴいふれいすへ

カリツー東日本株式会社  
岩手金ヶ崎物流センター 様 50,000 円  
水沢信用金庫 様 200,000 円  
菊地 幸夫 様 米 10kg  
デンソー岩手労働組合 様 フードバンク食品 179 点  
檀原自治会 様 カップラーメン 59 ケ

## 令和5年度ふれあい福祉相談の日程変更について

ふれあい福祉相談の日程が、毎週金曜日実施から第4金曜日に変更となりました。第4金曜日が祝日の場合は、第3金曜日となります。時間は午後1時から4時までで変更はありません。

相談の際は、特に予約は必要ありません。



### 【開催日】

令和5年	4月28日(金)
	5月26日(金)
	6月23日(金)
	7月28日(金)
	8月25日(金)
	9月22日(金)
	10月27日(金)
	11月24日(金)
	12月22日(金)
令和6年	1月26日(金)
	2月16日(金)
	3月22日(金)

お問合せ先：総務企画・地域福祉課  
TEL 44-6060

## 募集

## 令和5年度 オレンジカフェ実施団体

だれもが気軽に集える地域に開かれたカフェ等  
を開設し、勉強会や健康教室等を行います。

高齢者の介護予防や認知症予防、地域の人たち  
とのつながりを増やすことを目的とします。

- ・対象 概ね 65 歳以上
- ・人数 5 人以上
- ・内容 認知症や介護などについての研修  
健康教室、情報共有、交流など  
※年 4 回以上のこと
- ・助成金 2 万円
- ・締切 5 月 31 日(水) 必着
- ・申込先 金ヶ崎町社会福祉協議会

TEL 44-6060 担当：小澤明延 あきのが



## 社会福祉法人 金ヶ崎町社会福祉協議会

☎029-4503

金ヶ崎町西根南羽沢43 町福祉センター内

TEL : 0197-44-6060 FAX : 0197-44-6106

Eメール : kinshaky@seagreen.ocn.ne.jp

ホームページ <http://www.kin-syaky.jp>

★この広報誌は、共同募金配分金の一部をあてて発行しています

